

新居浜市総合文化建設委員会 第3回分科会 小劇場 会議録

1. 日時	平成23年7月26日(火) 10:00~12:30
2. 場所	新居浜市役所 3階応接会議室
3. 出席者	<p>委員 山本光博 好井和樹 田邊憲司 伊藤公一 福本美喜和</p> <p>スーパーアドバイザー 高見知佳</p> <p>建設委員会委員長 松久勝利</p> <p>総合文化施設準備室室長 赤尾恭平</p> <p>〃 副室長 菅春二</p> <p>〃 係長 藤田英友</p> <p>〃 主事 山内貴志</p> <p>〃 山田慶治</p> <p>(株)日建設計 3名</p> <p>(株)トータルメディア開発研究所 3名</p> <p>新居浜市役所 建築住宅課 2名</p>
4. 欠席者	石川猛
事務局	<p><開会挨拶></p> <p>定刻がまいりましたので、ただ今から、新居浜市総合文化施設建設委員会第3回小劇場分科会を開催いたします。</p> <p>本日は、お忙しい中ご出席頂きましてありがとうございます。今回の分科会には、分科会全体の委員長でもある松久委員長とアドバイザーの高見知佳さんにご出席して頂いています。宜しくお願いします。</p> <p>では、早速議題に入りたいと思います。</p> <p>最初に、前回までの分科会と各団体と行ったヒアリングの検討内容と課題整理について説明したいと思います。</p>
事務局	<p><これまでの検討内容と課題整理について></p> <p>資料の「第3回分科会資料」をご覧ください。まず一つ目の250席の考え方についてですが、市の意見として既存文化センターの大ホール、中ホールとの役割分担や、市民の気軽な利用を促進し、一体感を醸成する規模として、250席と設定しています。</p>

<p>事務局</p>	<p>もう一つの理由は、舞台上での演技を鑑賞する時、俳優の細かな身振りや表情を見る事の限界は大体15m程度とされています。今回の計画では、舞台から一番後ろの客席までの距離を約15mに設定しています。</p> <p>次に、全体の検討・課題についての説明を事務局側から説明をしていきます。</p> <p>それでは、説明に入ります。最初のロールバックの可能性についてですが、平土間への転換は、複合施設としてもメリットを生かす点で有効というご意見を多く頂きました。転換機構として、ロールバックチェアを採用し運営面負担軽減も図ります。</p> <p>次に、フライタワーについてですが、今回の劇場は小規模であることや、平土間として活用する時の利便性、音楽利用時の上方への音抜けを軽減する面でも、フライタワーは設置しないこととします。</p> <p>次にスタジオ等についてですが、市内の気軽な練習場所の充実のため、小劇場を含めて、大、中、小のスタジオを設けます。各スタジオには、規模に応じた練習設備の設置を検討しています。</p> <p>次に、椅子の幅及びグレードについてですが、国内のホールにおいてゆとりある座席幅である54cm程度を想定しています。肘掛付の座席とし、劇場客席としてのグレード感を確保します。又、従来のロールバックチェアのグレード感を損ねていた床面の振動に対しても、防震対策を行うこととします。</p> <p>次に、残響時間についてですが、残響時間は空間ボリュームに比例し、空間が大きくなるほど残響時間の最適値は長くなります。今回の計画規模の3,000 m³の気積に対して、演劇や集会利用に対しては、0.8～1.0 秒程度、室内楽ホールとしては、1.1～1.3 秒程度が適当になります。今回の計画では多様な利用形態を想定して、1.0～1.1 秒を設計目標値とし、0.1 秒程度の残響可変機構を検討いたします。</p> <p>次に、親子席・車いす席についてですが、多様な市民利用が可能なよう、親子席、車いす席を設置します。</p> <p>検討内用のご説明ありがとうございました。次にアドバイザー</p>
------------	---

事務局	<p>等の意見も含め、事業者からの説明をお願いします。</p>
<p><日建設計 資料説明及び応答></p>	
事業者	<p>日建設計の小野と申します。宜しくお願いします。 早速、資料の説明に入ります。 舞台設備の検討ですが、まだ決まりではないので、ご了承頂けたらと思います。 小劇場の平面図と断面図がありますが、反響板や、スクリーンがあると思います。これらを使って音等の設備のカバーをしていき、多様な使い方をして頂けるようにと思っています。</p>
事業者	<p>日建設計の児玉と申します。 補足で説明したいと思います。 別に残響についての資料がありますのでご覧ください。残響というのは、ホールの大きさ、目的に応じて調節するものでして、今回の複合施設といった多様な事にホールを使うような場合は残響をスタンダードのすることが良いと思います。その中で、反響板を出して調節できるものにするのが普通です。今まで作ってきた建物もそうでした。</p>
事務局	<p>ご説明ありがとうございました。 説明を聞いてご意見、ご質問があればお願いします。</p>
<p><質疑応答></p>	
委員	<p>残響について、場所によって聞こえ方がちがうホールもあって、クリアに聞こえるようにしてほしい。</p>
事業者	<p>今回のような小ホールでは、生声で聞こえる大きさで、声を跳ね返すようにすると逆に聞こえにくくなると思います。大きいホールになると跳ね返りで2階や隅に届くようにしていくのですが、今回の場合は使い方を変えるようにしていくと良いと思います。</p>

委員	側板が観音開きになっているのは良いと思う。しかし、照明ボタンが昇降できないのは不便なので、部分で良いので昇降ボタンにしてほしい。
事業者	電動ボタンというのがいくつかあると思うのですが、この電動ボタンに吊るしてもらい形もできます。昇降式にすることは技術的に問題ありませんが、コストの面や機材の大きさにやって異なります。そして、小劇場だけに使うホールではないので、平土間にした時のことも考えて頂かないと思います。
委員	平土間にした時のことですが、一応小劇場といっているので昇降式にしてほしい。あとここには、ボーダーライトはないのですか。
事業者	今現在は、仮設的に書いているだけなので、それもまた電動ボタンの関係になってきます。とりあえず、多目的なホールなのでそこに焦点を定めています。
委員	昇降にしないと一回一回の手間もあるし、それだけのスタッフがいるかという問題になってきます。
事業者	私共も簡単に気軽に使って頂ける物にしたいと思っておりますが、コスト面の問題もありますので検討していきたいと思っております。
委員	正直、スタッフの力量がない。これは大きな問題ですので、これも考慮してほしい。
委員	参考程度に聞きたいのですが、東京ドームの残響の秒数を小劇場でもできますか。残響のことがあまり分からなくて、どのホール

	<p>の残響がちょうど良いのかが分からない。私が思うに文化センターは良いと思う。</p>
事業者	<p>目安というのは難しく、何に使うかによって変わってくるので、最低限の残響にしたいと思っています。客にストレスのないものになっていると思います。電動のものは良いのですが、維持費やコストもかかってきたり、手作業がでてくるのは絶対です。あと、椅子を収納する床を電動にするか等の話が出てきていなかったのですが、私は電動にしたいと思っています。コストはかかりますが安全で便利などと思っています。</p>
委員	<p>椅子の幅は、この会議室の椅子と同じくらいですか。</p>
事業者	<p>本当に少しだけ小さいくらいです。 椅子にはこって行きます。</p>
委員	<p>次の議題に移ります、各種団体のヒアリングについて、事務局から説明します。</p>
事務局	<p>小劇場はスクリーン設置が可能か、ですが、小劇場として計画しており、前方に舞台を設けます。 次に、フリーステージの使用についてですが、屋外フリーステージについては、音の問題があるので、今後の検討事項とする。</p>
事務局	<p>これからも様々な団体とのヒアリングをしたいと思っていますので、委員の皆さまからもこの団体としてほしい等のご意見も頂けたらと思いますのでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>このヒアリングは、今も進行中ですか。これから何回かする予定ですか。</p>

事務局	<p>はい。今は1回のヒアリングをしましたが、これからも活動して頂ける空間にするためにヒアリングをする予定です。人との繋がりもできるのでヒアリングをしていきたいです。</p> <p>それでは、次の議題に移りたいと思います。事業の考え方について、トータルメディア開発研究所からご説明よろしくお願ひします。</p> <p style="text-align: center;">＜トータルメディア 資料説明 応答＞</p>
事業者	<p>それでは、事業の考え方について説明したいと思います。お手元の資料をご覧ください。</p> <p>今までの分科会の資料と似てはいますが、追加で加わっている部分もあるので見比べながら見て頂ければと思います。</p> <p>事業の枠組みですが、大きく分けて5つのものにしました。こういったものの中に劇場・にはま文化・美術館があり、交流の場になればと思っています。次に2. 3 pになりますが、この最初の資料を図に落とし込んだものになっています。イメージですので、またご意見頂ければと思います。</p> <p>次に4.5.6 pになりますが、事業の内容を詳しく書いたものになります。また平面プランと見合わせてもらえればと思います。最後に8 pですが、年間のスケジュール案になります。イベントがあるときなどの使い方の案ですので、ご意見頂ければと思います。</p> <p>簡単ではございますが、説明は以上になります。</p>
事務局	<p>ご説明ありがとうございました。ご意見があればよろしくお願ひします。</p> <p style="text-align: center;">＜質疑応答＞</p>
委員	<p>最後のページの年間スケジュール案ですが、今書いてあることは決定ですか。貸し館はしない方向ですか。</p>
事務局	<p>まだ決まりではありません。予定のない所でしたら貸し館にする方向で考えています。市民の方々の活動の場にして頂きたいの</p>

	<p>で貸し館は取り入れるものにしたいです。</p>
事務局	<p>どのくらい活動している団体があって、この施設を使うのかは把握できていない状態なので、詳しいことは言えませんが貸し館で各団体に使って頂きたい意思表示はしていくつもりです。</p> <p>これまでのお話をきいて、アドバイザーの方々にもご意見頂ければと思います。</p>
委員長	<p>市外から来た人がイベントできるような呼び掛けはいると思います。そして、粋にはいった物だと面白くない。様々な角度からのものを作ることが、活性化にも繋がるとおもう。</p>
委員	<p>沖縄では、子供中心の祭りがあります。この祭りは、市全体を上げてのものです。やはり、ホールだけではなく、市を上げてのイベント、子供から大人まで楽しめるイベントをすることも大事だと思います。求めるものは、有効に使ってほしい。ということです。せっかく大きい文化施設ができるのでいつまでも活気のあるものにしていきたいですね。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、次の議題に移りたいと思います。</p> <p>日建設計からのご説明をお願いします。</p>
	<p style="text-align: center;"><日建設計 資料説明></p> <p>施設全体の計画概要について模型を使って説明したいと思います。今回初めて1.2.3階と揃って説明ができるようになりました。まだまだ施設の中身の棲み分けとデザインが定まっていないのでこれからご意見を頂きながら検討していきます。模型は資料と同じサイズになっていますので、見合わせながら説明していきます。</p> <p>特徴といたしましては、出入り口が4つあって様々なところか</p>

<p>事業者</p>	<p>ら入れる作りになっています。子供から大人まで入りやすいもの にしたいと思っています。基本プロポーザルの時の案や分科会の 案は余り変えず、これからの意見は柔軟に取り入れればと思っ ています。資料に詳しく中身のことがあるのでご意見頂ければと思 います。</p> <p style="text-align: center;"><トータルメディア 資料説明></p> <p>引き続きあかがねフォーラムの平面プランについてご説明し たいと思います。</p> <p>最初に平面プランがあって、その横に各諸室の機能がありま す。</p> <p>1、インフォメーション あかがねミュージアムの総合案内、館内での活動をサポート するインフォメーションの場所。アート工房内の各諸室の利 用受付・パソコンや映像機器等の貸出、コピーサービスなど を行う窓口。</p> <p>2、工房1（アトリエ） 水場などの設備が整った創作活動が行えるクローズな場所。 あかがねミュージアムで開催する多人数でのワークショップ 活動や各種サークル活動に活用。</p> <p>3、工房2（オープンラボ） アトリエと同様に創作活動を行う場所。セミオープンな空間 の中で、机、椅子の配置次第で、多人数でのレクチャー形式 の創作活動や、個人での簡単な創作活動まで幅広く使える。</p> <p>4、工房3（メディアラボ） PCがあり、デジタルでの作業やワークショップを行う場 所。主には、映像の編集</p> <p>5、スタジオ 音が出るワークショップ活動、さらにはバンドや太鼓、落語 や演劇のリハーサルに使用できる防音室。小劇場のリハーサ ルとして使用できるスタジオ、また各種サークル活動に利用 できるスタジオの2種類があります。</p> <p>6、会議室 市内や館内で活動する組織の打ち合わせのためのスペース。 ・会議や講習会のためのクローズなスペース（会議室1）</p>
------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・床があり和室として使用できるスペース（会議室 2） ・ミーティング形式のためのオープンなスペース（会議室 3） <p>7、ライブラリー</p> <p>市民の皆さんの館内での活動の際に資料が参照するためのライブラリー機能。新居浜の歴史・自然・風土に関する書籍、また芸術・文化に関する書籍、絵本などが利用できる稼働式の書架。</p> <p>8、キッズルーム</p> <p>館内での活動の際に託児ができるスペース。簡易遊具や、絵本の読み聞かせができるオープンなスペース。</p> <p>9、テラス（屋外）</p> <p>屋外に面しているテラスを使用し、館内だけでなく、屋外でのワークショップ活動などに利用できます。</p> <p>10、カフェ/ショップ</p> <p>簡単な喫茶を提供する場所。また、グッズや新居浜ゆかりの品々、さらにはアート工房で製作されたものを販売できるショップ機能も併設しています。</p> <p>11、交流サロン</p> <p>テーブルと椅子が並び、喫茶を行いながら、休憩、談笑、学習、打ち合わせに使用できるスペース。また、屋外ひゅリーステージと連動し、イベント時には、解放して使用できる。</p> <p>12、屋内フリーステージ</p> <p>階段を活かしたフリーステージ。交流サロンと連動し、階段を活かしてイベントや客席としてもりようができます。</p> <p>13、屋外フリーステージ</p> <p>屋外にあるフリーステージ。交流サロンと連動し、様々なイベントや普段の練習などに利用ができます。</p> <p>これらのイメージを次のページにのせています。</p> <p>インフォメーションですが、人々のスタートの場になる空間になるようにしていきたいと思っています。明るく広い空間にしています。</p> <p>次に工房（アトリエ・オープンラボ）のイメージですが、人の集まる空間なのでスペースを大きくとり、調べ物のしやすいものにと考えています。</p> <p>最後に会議室のイメージですが、様々なタイプの会議室がある</p>
--	--

	<p>ので、タイプごとに配置を考えていきたいと思っています。</p> <p>次ににはま文化の平面プランについてですが、「にはま文化」の位置付けは、狙い手が市民一人一人です。そのため、この場所は、市民自ら活動できる場所として位置づけています。</p> <p>単なる交流する場所にすぎません。</p> <p>様々な活動をされている主体が、この場所を活用して、交流を通じて新居浜というものを発信していく場です。</p> <p>次に、にはま文化の機能と平面プランについてで、</p> <p>1、太鼓台実物展示</p> <p>新居浜太鼓台の実物展示。3面をガラスで覆い、汚れ等から守るとともに、様々な角度から太鼓台の実物が見ることができるようになっています。各太鼓台を入れ替えが可能なように、扉を設け、外部から入れ替えが可能なようになっています。</p> <p>2、太鼓台紹介</p> <p>実物と照らし合わせながら、各地区の太鼓台の特徴の紹介をそます。また、構造や各部分の詳細も。</p> <p>3、太鼓祭りの歩み</p> <p>太鼓祭りの成り立ちや歴史、流れや見所の紹介を行います。</p> <p>4、にはまシアター</p> <p>新居浜太鼓祭りの迫力を体感できるシアターです。太鼓祭りの映像を中心に、新居浜の紹介など複数の映像を投影できるようにします。</p> <p>5、コンシェルジュカウンター</p> <p>市民団体の方々が活動できるスペース。来館者が来た場合には、地域文化や観光情報に関する情報を提供する場所となります。</p> <p>6、にはま文化</p> <p>歴史や自然、風土や民族芸能などを、新居浜を物語る上で欠かせないトピックを紹介していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別子銅山 ・多喜浜塩田 ・お手玉 ・正光寺山古墳 ・鉦石等 ・植物 <p>になります。他にこんなものがあれば良い等のことがあればご意</p>
--	--

	<p>見頂ければと思います。</p> <p>次のページがそのイメージになります。見やすいように、調べやすいようにしていきたいと思います。</p> <p>これで説明を終わります。ご意見があればお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><質疑応答></p>
委員長	<p>ハード面のことの説明でしたが、ソフト面のことで複合施設ということで大変ですが、運営については民間の考えも取り入れて、柔軟に考えていかないといけないと思う。運営については、これからの課題になっていくと感じました。</p>
事務局	<p>これからの課題になってきますが、また運営面に関してもご意見頂いて、お力添えのほどお願いします。</p>
事務局	<p>補足になりますが、事務局と委員の間で一番大変な立場でされているトータルメディアの横田さんですが、実際、高松の施設の運営をされているんですが、どのようにしたら使い易く、人の交流の場になりかなどの運営面でのご意見も頂きながら、今年度の後半にまた詳しく詰めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>今回の施設は、駅前で良い立地条件にあると思います。しかし、新居浜には様々な施設があり、各分野に良い設備のホールがあると思います。今回の複合施設で全てをするのではなく、今回の施設を中心に他の施設も活性化できることが一番だと思います。分散して様々な施設を使えるようにすることで、新居浜全体が活性化できると思います。</p>
事務局	<p>上手く分けて使っていけるように検討していきます。元々ある施設を上手く有効活用して行って、活性化できるようにしていきたいです。</p>

委員長	<p>今回の説明で多様な機能があると思いました。だからこそ、広い地域での有効活用するのが大事。あと、面積等のことをもっと詳しく提示して頂いた方が詳しい話し合いになるので、次回をお願いします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">＜閉会の挨拶＞</p> <p>ありがとうございました。時間も過ぎていきますので、これで第3回分科会を終わりたいと思います。</p> <p>次回の分科会ですが、まだ詳しい内容が決まり次第、ご連絡差上げます。</p> <p>今日は、お忙しい中ありがとうございました。</p>